

平成 28 年度（2016 年度）事業報告書

公益財団法人横須賀市産業振興財団は、平成 5 年 11 月から「横須賀市産業交流プラザ」を活動の拠点に各種事業を行い、本市の産業振興を図っております。

平成 28 年度は従来横須賀市が実施していた中小企業向けのいくつかの事業を財団の事業に取り込むことと併せて事務局員を 2 名増員し、国の支援策も活用しながら市・商工会議所など関係機関・団体と連携し、財団ならではの機動性を発揮して諸事業を展開いたしました。

具体的には、新規事業として創業支援セミナー、経営改善セミナー、スタートアップオーデイション、商工相談事業を新たに始めたほか、従来から実施している交流事業、研修事業、情報提供事業、調査相談事業、福利厚生・慶弔給付事業、経営改善支援事業の充実強化によって、創業者や既存企業が新たな事業活動に取り組む際のノウハウの取得を支援しました。

今後もより一層、個別企業の経営革新や創業者成長支援等の各種事業を通じて、横須賀市の産業振興を図るとともに、三浦半島地域の中小企業福利厚生の実施のための事業を展開してまいります。

1 事業の概要

(1) 公益目的事業

ア 産業振興に関する懇談会、シンポジウム等の開催（交流事業） 支出額 1,294,813 円

(ア) 異業種交流グループの活動支援（補助）

企業間連携によって新たな事業起こしを目指す 2 つの異業種交流グループの活動に対して、活動費の一部を補助するとともに、定例会に随時参加し、アドバイスをを行った。

- ・横須賀地域研究機関等連絡協議会
- ・横須賀交流プラザ

(イ) 産学連携・産業経済人交流会の開催

大学研究者と企業経営者、技術者、創業者が情報交換を行うことにより、相互の理解を深め、新たなビジネスチャンスの創出を図るため、産学官連携のイベント等の終了後に開催した。

- ・期 日 5/25・6/26・7/28・9/14・10/25・11/25 の 6 回
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ、(株)D2C (6/26)
- ・参 加 者 大学研究者・企業関係者等延べ 157 人

(ウ) 地域を越えたビジネス交流会への参加

県内の 5 産業振興財団が市域を越えた企業間の交流を促進するため、それぞれの財団が主催する事業について互いに啓発に努めた。

- ・構成機関 (公財)横須賀市産業振興財団、(公財)横浜企業経営支援財団、(公財)川崎市産業振興財団、(公財)相模原市産業振興財団、(公財)湘南産業振興財団

(エ) 中小企業支援フォーラムの活動支援

女性起業家を目指すグループ及び産学連携の自主的な活動に対して、運営面でのアドバイスとともに広報や会場使用料、開発経費等の面で支援した。

- ・対象 ①女性起業家応援団“WITH”
②横須賀ガジェットラボ研究チーム

① 女性起業家によるセミナー・勉強会の開催（WITH主催・財団後援）

ファイナンシャルプランナー、アートセラピスト、メイクアップアーティスト、フラワー講師など、自らのスキルを活かして起業家としての成長を目指す「女性起業家応援団“WITH”」が行う対外的なセミナー・交流会とメンバー間の勉強会を次のとおり開催した。

セミナー・交流会 4/23・6/25・7/22・10/1・11/25・1/28・3/25 計7回

参加者：延べ169人

勉強会 5/20・12/15・2/13 計3回 参加者：延べ32人

② 横須賀ガジェットラボ研究チームによる開発試作の支援（木皿直規コーディネーター主催）

YRP内で活動している当チームが開発試作に必要な部品・ソフトを購入した。

チーム構成員：木皿コーディネーター、研究者、開発者、企業経営者 計9名

開発試作の会合：平成28年4月～平成29年3月まで計26回 参加者：延べ86人

(オ) ハッカソン※（ICT関連）

横須賀市内にICT関連企業・人材の誘致や育成を図るとともに、研究機関や観光地など横須賀ならではの資源に注目し、ICTを活用した新たな事業興しのヒントを得るため、ハッカソンとアイデアソン※を5つのテーマで開催した。

なお、この事業は、平成27年7月1日から当財団が事務局を務めている「ヨコスカバレー構想実現委員会」のハッカソンユニット事業として実施した。

（※）ハッカソンとはハック(Hack)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

（※）アイデアソンとはアイデア(Idea)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

a 国総研・港空研ハッカソンの開催

・期 日 7/23・7/30

・場 所 国土技術政策総合研究所・港湾空港技術研究所（7/23）
横須賀市産業交流プラザ（7/30）

・参加者 20人（7/23）、13人（7/30）

・内 容

（1日目）インプットセミナー、施設見学、3グループに分かれてのアイデアソン

（2日目）4グループに分かれてのハッカソン、発表会、審査・表彰

ファシリテーター：タイムカプセル(株) 代表取締役 相澤謙一郎

審査員：港湾・航空技術研究所長 栗山善昭

国土技術政策総合研究所長 藤井 敦

横須賀市経済部長 秋本丈仁

b ヨコスカご当地 CH の開催

- ・期 日 7/30・8/20
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 30人(7/30)、23人(8/20)
- ・内 容

小中学生を対象に、「キミの作った作品でヨコスカをもっと知ってもらおう」と題して、A3theater というソフトウェアを使用して夏休み期間中に簡単な動画製作を行い、優秀作品は終了後に横須賀美術館、横須賀ポートマーケット等のディスプレイで公開した。

(1日目)操作方法のレクチャー会

(2日目)5グループによる発表会、審査・表彰

ファシリテーター：NTT ソフトウェア(株)メディア&モバイル事業部 小幡憲司

審査員：NTT ソフトウェア(株)メディア&モバイル事業部統括部長 寺澤 規

(公財)横須賀市産業振興財団理事長 小池克彦

横須賀市経済部創業支援担当課長 曾我文雄

c アイデアソン in 横浜 F・マリノス アプリプログラミング教室

- ・期 日 平成28年11月5日(土)
- ・場 所 横浜マリノス(株)
- ・参加者 40人
- ・内 容

レクチャー会、プログラミングの基礎講座(時計アプリ作成)、アイデアソン、発表会

ファシリテーター：タイムカプセル(株) 代表取締役 相澤謙一郎

d 広域連携ハッカソンへの参加(1)「三浦半島をハックせよ」成果発表会

- ・期 日 平成29年2月18日(土)
- ・場 所 猿島 多目的ホール
- ・参加者 23人(横須賀からはカップル向けデートアプリ「スキログ」チームが参加)
- ・内 容

横浜市金沢区、横須賀市、鎌倉市が連携して、各地区の発表の後、三浦半島活性化アイデアソンを行い、参加者の投票で上位5個のアイデアを発表した。

ファシリテーター：タイムカプセル(株) 代表取締役 相澤謙一郎

(一社)リンクデータ代表理事 下山紗代子

e 広域連携ハッカソンへの参加(2)「三浦半島広域観光アイデアソン・ハッカソン」

- ・期 日 3/19・3/20
- ・場 所 16Startups
- ・参加者 30人
- ・内 容

三浦半島観光連絡協議会(上記3市+三浦市、逗子市、葉山町)の呼びかけで、事業計画部門、IT部門についてアイデア出しワークショップ、ブラッシュアップ、発表会を行った。

ファシリテーター：タイムカプセル(株) 代表取締役 相澤謙一郎

エイチタス(株) 代表取締役 原 亮

イ 産業経済に関する研修会、講習会の開催（研修事業） 支出額 6,333,393円

(ア) 産学交流セミナー・フォーラムの開催

横須賀市に立地している企業や大学の知的資産を活用し、産学連携を促進するため、産学交流セミナーの開催とともに、環境・新エネルギー、ICT分野に関するフォーラム等を開催して産学官連携の意義を広く周知した。

a 産学交流セミナーの開催

防衛大学の協力を得て市内中小企業の経営の参考となるよう開催し、延べ113人参加した。

- ・期 日 5/25・7/28・9/14(全3回)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ第1研修室
- ・対 象 者 企業経営者、技術者及び市民
- ・内 容
 - 第1回 「旧軍港都市ならではの民官交流のすすめ～『まいちん』（舞鶴市）の場合～」
防衛大学校 戦略教育室准教授 中澤 信一（参加者 27人）
 - 第2回 「ロボット工学でヒトをまねる」
防衛大学校 機械工学科准教授 辻田 哲平（参加者 28人）
 - 第3回 「防災用ヘルメットアンテナの開発」
防衛大学校 理工学研究科教務主事 森下 久（参加者 21人）

b 産学連携フォーラムの開催

医工連携による高強度 MDF(※)純チタン研究会

(※)MDF=Multi-Directional Forging(多軸鍛造)

- ・期 日 平成28年10月25日(火)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ第2研修室
- ・内 容
 - (a) 関東経済産業局の進める医療機器産業振興策について
関東経済産業局 次世代産業課ヘルスケア産業室係長 山中和久
 - (b) 「MDF 純チタン棒・箔の組織と特性」
豊橋技術科学大学 機械工学系教授 三浦博己
 - (c) 「フッ素溶液浸漬後のMDFチタンの表面変化」
鶴見大学歯学部 有床義歯補綴学講座 鈴木銀河
 - (d) 「多軸鍛造チタンの支台装置への応用」
鶴見大学歯学部 有床義歯補綴学講座 仲田豊生
 - (e) 「インプラント材としてのMDF純チタンの可能性」
神奈川歯科大学歯学研究科 腔機能修復学講座准教授 星 憲幸
 - (f) 「MDFチタン薄板の大気中および生理食塩水中における疲労挙動」
岐阜大学 工学部機械工学科教授 植松美彦
 - (g) 「MDFチタンの低温での変形挙動」
金沢大学 理工研究域機械工学系准教授 渡邊千尋
- ・参加者 28人

(イ) 新春経済講演会の開催

激動する日本経済が直面している諸問題を豊富な経済知識で分析し、新聞やテレビでも馴染み深い講師より、これからの日本経済の展望について新しい年の経営指針として講演した。

- ・期 日 平成 29 年 1 月 30 日 (月)
- ・場 所 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
- ・主 催 横須賀商工会議所、横須賀市、(公財)横須賀市産業振興財団、(公社)横須賀青年会議所、横須賀工業振興協、横須賀三浦労働基準協会、横須賀運輸港湾振興会、三浦商工会議所
- ・後 援 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター
- ・講 師 岩田公雄 (ジャーナリスト・学習院大学特別客員教授)
- ・内 容 「どうなる！今後の政治・経済」
- ・参加者 235 人

(ウ) プログラミング研修の開催 (ICT 関連)

将来の ICT 人材を育成するため、横須賀市内の高校生等を対象に「ヨコスカバレー構想実現委員会」の事業として実施した。

- ・期 日 第 1 期 6/19・7/3・8/7・9/4・10/9・11/6
第 2 期 11/20・12/4・1/15・1/29・2/12・3/5 (計 12 回)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ交流サロン・第 2 研修室
- ・講 師 ㈱タイムカプセル 代表取締役 相澤謙一郎他
- ・内 容 ICT スキルを高めるための高校生対象のスマートフォン向けゲームアプリケーションの製作
- ・参加者 26 人 (第 1 期 9 人、第 2 期 17 人)

(エ) 創業支援セミナーの開催<特定創業支援事業>

創業の意欲を持つ人に対して、創業の心構えや創業に必要なノウハウを系統的に学び、創業計画書の作成を含む研修を特定創業支援事業として行った。

- ・期 日 7/5・7/8・7/12・7/15・7/19・7/22・7/26・7/29<全 8 回>
- ・場 所 横須賀商工会議所
- ・共 催 横須賀市、横須賀商工会議所、神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター
- ・テ ー マ ①「事例から学ぶ創業成功のポイント」(7/5)
②「金融機関職員が教える創業のポイント」(7/8)
③「自分にふさわしいビジネスを考える」(7/12)
④「売れる仕組みづくり」(7/15)
⑤「創業に役立つお金の基礎知識」(7/19)
⑥「人を雇うときのルール」(7/22)
⑦「ビジネスプランを作る<1>」(7/26)
⑧「ビジネスプランを作る<2>」(7/29)
- ・講 師 中小企業診断士 飯島伸博 (①、③、⑤、⑦、⑧)
㈱Manabelle 代表取締役 小林琴美 (①)
中小企業診断士 佐々木光弘 (④、⑦、⑧)
㈱日本政策金融公庫国民生活事業南関東創業支援センター所長寺田博史 (②)
社会保険労務士 鈴木江美 (⑥)
- ・参加者 10 人 (全 8 回出席者 4 人)

(オ) 経営改善セミナー（創業者成長支援セミナー）＜特定創業支援事業＞

創業後概ね3年程度の事業者を対象に、さらに業績を向上させるための具体的な方策をセミナー形式で特定創業支援事業として行った。

- ・期 日 2/2・2/9・2/16・2/23・3/2＜全5回＞
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ交流サロン
- ・共 催 横須賀市
- ・テ ー マ ①「絶対に知っておきたい創業・経営の心得10カ条」(2/2)
②「数字に親しくなる経理処理の仕方、財務諸表の正しい見方」(2/9)
③「売れるにはツボとコツがある。その仕組みを徹底的に考える」(2/16)
④「企業は人なり～人材が強くなやかな組織を作る」(2/23)
⑤「成長戦略について・全5回の振り返り」(3/2)
- ・講 師 中小企業診断士 菅生将人(①、⑤)、中小企業診断士 大庭聖司(②)
中小企業診断士 原 賢治(③)、 中小企業診断士 酒井勇貴(④)
- ・参加者 14人(全5回出席者3人)

(カ) スタートアップオーディション

ICT分野で新たな事業領域を自らの創意工夫で切り開くビジネスプランを募集し、審査・公表を行った。

- ・募集期間 7/11～9/9(平成28年度中に市内で着手するICT分野のビジネスプラン)
 - ・一次審査 9/13～9/26(応募者8名の申請書を5人の審査員が書面審査し、5名を選んだ)
 - ・二次審査 10/3(公開プレゼンテーション形式で最終選考会を行い、大賞1名と入賞2名を選出)
 - ・場 所 横須賀市産業交流プラザ第1研修室
 - ・参加者 28人(応募者・審査員・取材・見学・事務局含む)
- 受賞者：大賞 (株)YRP-IOT 代表取締役 半田祐一
「IoT フロントランナー横須賀プロジェクト」
入賞 ヨコスカクリエイターズ事業協同組合代表理事 堂城川 厚
「ヨコスカをドローン技術の発展拠点に！」
(株)link supporters 代表取締役 土屋健司
「インバウンド促進メディア『YOKOS カモン』の企画・立ち上げ・運営」
- 審査員：(株)スプラム代表取締役 中小企業診断士 竹内幸次
面白法人カヤック代表取締役 CEO 柳澤大輔
(公財)神奈川産業振興センター(KIP)事業部経営支援課長 杉本洋夢
かながわ信用金庫経営サポート部課長 小池俊介
湘南信用金庫営業統括本部地域活性課チーム湘南課長補佐 藤本直人

ウ 産業経済情報の収集及び提供(情報提供事業) 支出額 525,085円

(ア) 情報の収集及び提供

産業交流プラザの情報図書室において、来館者に経済情報等を提供した。

(イ) ホームページの運用による情報発信

セミナー・イベントの告知や相談窓口の紹介などの情報発信を行った。

エ 産業経済に関する調査研究（調査・相談事業） 支出額 4,964,215 円

(ア) 産学官連携推進事業

市内中小企業が研究開発を伴う事業に取り組む際に、大学や研究機関との橋渡しを行う他、企業間連携促進のために産学官コーディネーターを2人配置して個別案件を支援した。

- ・氏名 上原康滋、木皿直規
- ・稼働日数 延べ96日
- ・支援実績 個別支援対象事業所・団体に対して大学・研究機関の研究者や連携企業を継続的に仲介した他、研究開発力向上のためのアドバイスを行った。

(イ) 産業技術相談事業

中小製造事業所の技術課題に対応するため、県機関や市の工業担当職員と連携して個別訪問を行い、技術的なアドバイスとともに表彰制度や補助金など公的支援策の紹介を行った。

- ・期間 平成28年4月から平成29年3月（原則として毎月1回）
- ・企業数 20社
- ・訪問者 神奈川県産業技術センター職員、横須賀市経済部工業担当職員、財団職員

(ウ) メンタルヘルス相談事業

悩みやストレスを抱えている人やその家族、管理者・経営者を対象に「働く人の相談窓口」を開設した。

- ・期間 平成28年4月から平成29年3月（原則として毎週水曜日）
- ・相談者数 相談者27人（男性12人、女性15人） 延べ129回（平均4.8回/1人）
- ・相談員 (公財)横須賀市産業振興財団事業担当・産業カウンセラー 市川一郎
- ・内容 ハラスメントを含む職場の人間関係 13人、就職・転職 7人、
家族問題 4人、退職定年 2人、部下の扱い方 1人

(エ) 商工相談事業

市内中小企業の経営課題に対し、商工相談員が個別に課題解決に向けたアドバイスを行った。

- ・相談件数 9件
- ・相談員 中小企業診断士（6件）、弁護士（2件）、弁理士（1件）

オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供（福利厚生事業） 支出額 20,146,853 円

(ア) 会員の概要

	市 町	年度当初	増	減	年度末
会員数	横須賀市	992	194	101	1,085
	逗子市	25	2	1	26
	三浦市	24	1	0	25
	葉山町	7	1	0	8
	計	1,048	198	102	1,144
事業所数	横須賀市	151	13	8	156
	逗子市	8	0	0	8
	三浦市	4	1	0	5
	葉山町	2	1	0	3
	計	165	15	8	172

(イ) 自己啓発・余暇活動事業

会員が行う自己啓発研修や広範囲の余暇活動をサポートし、会員・家族のQOL向上を目指す事業を、独自企画事業に加えて県内各サービスセンターや神奈川県労働者福祉協議会との共催で行った。また、福利厚生事業を全国展開している㈱ベネフィット・ワンと契約し、きめ細かなサービスを提供した。

a 潮干狩り大会

- ・期 日 平成 28 年 4 月 23 日 (土)
- ・場 所 走水海岸
- ・参加者 56 名

b トロッケンゲシュテック教室

- ・期 日 平成 28 年 5 月 21 日 (土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 14 名

c 恋活・婚活セミナー

- ・期 日 平成 28 年 7 月 29 日 (金)
- ・場 所 横浜市技能文化会館
- ・参加者 2 名

d 「開国花火大会」観覧クルーズ

- ・期 日 平成 28 年 8 月 6 日 (土)
- ・場 所 久里浜沖
- ・参加者 46 名

e ステンドグラス教室

- ・期 日 平成 28 年 11 月 12 日 (土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 21 名

f 婚活 Party in みなとみらい

- ・期 日 平成 28 年 12 月 4 日 (日)
- ・場 所 横浜ベイホテル東急
- ・参加者 1 名

g 全労済営業力アップセミナー

- ・期 日 平成 29 年 2 月 18 日 (土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 15 名

h ボウリング大会

- ・期 日 平成 29 年 2 月 24 日 (金)
- ・場 所 スポーツ横須賀 (ダイエー横須賀店)
- ・参加者 61 名

i さつまいも掘り・みかん狩り・いちご狩り

- ・ 期 間 平成 28 年 9 月 10 日～平成 28 年 11 月 13 日（さつまいも掘り）
平成 28 年 10 月 20 日～平成 28 年 11 月 30 日（みかん狩り）
平成 29 年 1 月 6 日～平成 29 年 2 月 28 日（いちご狩り）
- ・ 場 所 津久井浜観光農園
- ・ 参加者 141 名

j 各種利用券補助

- | | | | |
|----------------------|---------|------------|-------|
| ・ ジェフグルメカード | 1,811 枚 | ・ ユネッサン入場券 | 43 枚 |
| ・ おんり～ゆ～他日帰り温泉チケット | 217 枚 | ・ 日帰りバスツアー | 50 名 |
| ・ TDR コーポレートプログラム利用券 | 185 枚 | ・ トイカード | 22 枚 |
| ・ すこやかん他スポーツ施設チケット | 242 セット | ・ 潮干狩り(走水) | 160 枚 |
| ・ ホテルランチ、ディナー券 | 494 枚 | ・ サーカスチケット | 36 枚 |
| ・ ハーゲンダッツミニカップギフト券 | 100 枚 | | |
| ・ 天成園宿泊チケットほか | 134 枚 | | |

k 文化教養（演劇、歌謡などの鑑賞券補助）

- ・ 場 所 横浜アリーナほか
- ・ 内 容 ディズニーオンアイス「アナと雪の女王」ほか
- ・ 利用枚数 95 枚

l 委託事業（ベネフィット・ワン）

- | | | | |
|-------------|---------|-----|---------|
| ・ 宿泊施設 | 50 件 | | |
| ・ スポーツ | 352 件 | | |
| ・ レジャー&エンタメ | 282 件ほか | 合 計 | 1,195 件 |

(ウ) 健康の維持増進事業

会員が健康の維持増進のために行うスポーツの施設利用割引や、人間ドック・がん検診、インフルエンザワクチン接種などに補助をした。

a スポーツ施設利用補助（再掲）

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ・ 横須賀市健康増進センター「すこやかん」 | 172 セット（1 セット 10 枚） |
| ・ 横須賀市サブアリーナほか 3 件「温水プール」 | 49 セット（1 セット 11 枚） |
| ・ 横須賀市総合体育会館ほか 3 件「施設使用」 | 21 セット（1 セット 11 枚） |

b インフルエンザワクチン接種補助

- ・ 補助対象 会員と登録している家族、計 3 名まで
- ・ 利用者 470 名

c 人間ドック・健康診断オプション「がん検診」補助

- ・ 補助対象 会員本人
- ・ 利用者 59 名

d 家庭用常備薬あっせん

- ・ 利用者 64 名

(エ) 情報提供事業

会員に季刊誌等を通じて、サービス・イベント情報を発信するとともに、未加入事業所に「ひとびとみうら」の事業内容についてPRし、加入促進に努めた。

a 「ひとびとみうらセンターだより」の発行

- ・発行時期 4月・7月・10月・1月（計4回）
- ・発行部数 7,000部
- ・内 容 運営状況、イベント広報ほか

b 「ひとびとみうらイベントニュース」の発行

- ・発行時期 平成28年4月から平成29年3月（計8回）
- ・発行部数 2,400部
- ・イベント広報ほか

(2) 収益事業等

ア 「ひとびとみうら」会員に対する祝い金や見舞金など慶弔金の給付（慶弔給付事業）

支出額 5,659,974円

(ア) 会員の概要

P6「オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供(福利厚生事業) (ア) 会員の概要」のとおり

(イ) 在職中の生活安定事業

会員とその家族に見舞金や祝い金など広範な慶弔給付事業を実施した。

- ・結婚、出産、子の小学校・中学校入学、永年勤続の祝い
給付額(結婚10,000円、他5,000円) 192件
- ・休業、住宅火災、後遺障害の見舞金
給付額(5,000円～50,000円) 21件
- ・会員、配偶者、子、親死亡による弔慰金
給付額(5,000円～50,000円) 57件

イ 横須賀市内の特定中小企業者に対する経営改善支援（経営改善支援事業） 1,357,446円

(ア) オーダーメイド企業研修の受託

中小企業の要望に応じて、委託企業の経営課題に対応したテーマを設定し、経営コンサルタントを派遣した。

- ・受託件数 8件（延べ35回）
- ・内 容 「建設業者の利益管理、資金繰り改善、従業員の動機づけ支援」（8回）
「不動産管理会社の所有物件リニューアル方策支援」（6回）
「整形外科医院の収益向上策支援」（6回）
「飲食業者の新規店舗設備設置の技術支援」（6回）
「健康食品卸売業継承者への営業方策立案支援」（3回）
「眼鏡販売店の店舗別業績管理体制の構築支援」（2回）
「業務請負業・労働者派遣業者の派遣法改正対応の事業計画策定支援」（2回）
「デジタル音源制作販売業者の経営方針立案支援」（2回）
- ・派遣専門家 それぞれの課題に対してアドバイス経験のある中小企業診断士及び技術者

(イ) 企業訪問調査・相談事業

市内中小企業の経営革新や創業者の経営拡大を支援するため、当該課題に適した専門家を派遣した。

- ・ 期 間 平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月まで年間を通じて実施
- ・ 企業数 14 事業者 (15 回)
- ・ 訪問者 中小企業診断士

2 役員会等の概要

(1) 役員に関する事項

ア 理事の就任

- ・ 平成 28 年 6 月 21 日付 小 池 克 彦 氏ほか 8 名 (任期満了に伴う再任)

イ 監事の就任

- ・ 平成 28 年 5 月 26 日付 鈴 木 嘉 明 氏 (就 任)

ウ 監事の辞任

- ・ 平成 28 年 5 月 26 日付 伊 藤 智 則 氏 (一身上の都合による)

(2) 役員会等に関する事項

ア 平成 27 年度事業及び決算等の監査 平成 28 年 6 月 2 日 (木)

イ 理事会

- ・ 平成 28 年度第 1 回理事会 平成 28 年 4 月 26 日 (火)
第 1 号議案 「評議員会の招集について(決議の省略による)」
- ・ 平成 28 年度第 2 回理事会 平成 28 年 6 月 14 日 (火)
第 1 号議案 「平成 27 年度(2015 年度)事業報告及び決算について」
第 2 号議案 「定時評議員会の招集について」
第 3 号議案 「平成 28 年度(2016 年度)収支補正予算について」
- ・ 平成 28 年度第 3 回理事会 平成 28 年 6 月 21 日 (火)
第 1 号議案 「代表理事及び業務執行理事の選任について(決議の省略による)」
- ・ 平成 28 年度第 4 回理事会 平成 29 年 3 月 6 日 (月)
第 1 号議案 「平成 29 年度(2017 年度)事業計画について」
第 2 号議案 「平成 29 年度(2017 年度)収支予算について」
第 3 号議案 「事務局長の任免について」
第 4 号議案 「就業規則の一部改正について」
第 5 号議案 「評議員会の招集について」
第 6 号議案 「評議員会における決議の省略について」

ウ 評議員会

- ・ 平成 28 年度第 1 回評議員会 平成 28 年 5 月 12 日 (木)
第 1 号議案 「監事の辞任及び選任について(決議の省略による)」

- ・平成 28 年度第 2 回評議員会 平成 28 年 6 月 21 日(火)
 - 第 1 号議案 「理事の選任について」
 - 第 2 号議案 「平成 27 年度(2015 年度)事業報告及び決算について」
 - 第 3 号議案 「平成 28 年度(2016 年度)収支補正予算について」

- ・平成 28 年度第 3 回評議員会 平成 29 年 3 月 16 日(木)
 - 第 1 号議案 「平成 29 年度(2017 年度)事業計画について」
 - 第 2 号議案 「平成 29 年度(2017 年度)収支予算について」